

I. 地域概況

今回、植生群落の動態に関する調査・研究の対象となった地域は、日本原子力発電株式会社敦賀発電所が建設されている敦賀半島先端部を中心とする地域である。

敦賀半島は、福井県の西部、敦賀市の北西に位置しており、東西に延びるリアス式海岸の若狭湾に突出している。敦賀半島はサザエ岳(685m)、西方ヶ岳(764m)などの峰が南北に延び、海岸線付近まで山塊がせまっている。

気候条件は、Tab.1に示されているように、夏季が比較的温暖であるのに対し、冬季に豊富な降水が見られる日本海型の北陸気候区に属している。対馬暖流の影響もあり、年平均気温が14℃に達するため臨海域では、ヤブコウジースタジイ群集、イノデータブ群集など常緑広葉樹の自然林が、断片的林分も含め、比較的多く残されている。

敦賀半島の地質は新期花崗岩類からなっており、表層が乾燥しやすいためアカマツ林、コナラアカマツ林が二次林として発達している。したがって、今回の調査対象地域もアカマツ林が優占している。



Fig. 1 植生調査地域付近概況図

Das Untersuchungsareal und sein Nachbargebiet

Tab. 1 敦賀における気候 (1931~1960年の平均)
 Meteorologische Daten von Tsuruga
 (Mittlere Werte von 1931 bis 1960)

月 Monat	Wert 区分	Lufttemperatur (°C) 気 温			Niederschlag (mm)
		Mittel 気温の月平均	Mittleres Tägliches Maximum 最高気温の月平均	Mittleres Tägliches Minimum 最低気温の月平均	月 降 水 量
1		3.6	6.7	0.4	347
2		3.7	7.1	0.4	215
3		6.6	10.7	2.6	162
4		11.8	16.6	7.1	134
5		11.6	21.2	12.4	128
6		20.8	24.9	17.2	173
7		25.0	29.1	21.8	209
8		36.3 *	31.0 *	22.6 *	153
9		22.1	26.9	18.5	221
10		16.3	21.1	12.2	196
11		11.5	16.0	7.3	204
12		6.6	10.1	3.2	350 *

* 年間最高値 Jahres Höchstwerte



Fig.2 調査地点位置図 (TPQI -20)
Lage des Untersuchungsgebiets